

# 2022年3月期第2四半期 決算概要

2021年11月11日

 日本タングステン株式会社

1. 第2四半期の経営成績の概況(連結)
2. セグメント別の状況
3. 財務の状況(連結)
4. 通期業績予想の修正並びに剰余金の配当及び期末配当予想の修正

ご参考

# 1. 第2四半期の経営成績の概況(連結)

## 経済環境

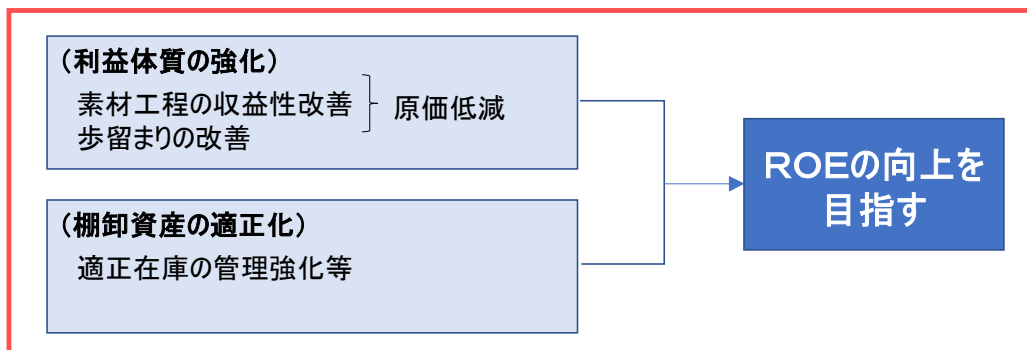
- ▶ 欧米諸国 : 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展により、各国の経済活動が再開され欧米諸国を中心に回復基調で推移
- ▶ 国内経済 : 新型コロナウイルス感染症による影響は残るものの、景気は海外経済の回復等により、持ち直しの動きがみられるなかで推移

## 当社の注力市場

- ▶ 自動車部品市場 及び 半導体・電子部品市場 : 好調
- ▶ 産業用機器・部品市場 : 回復基調で推移
- ▶ 衛生用品機器・医療用部品市場 : 回復が緩やかであり低調に推移

## 当社グループの取り組み

「日本タングステングループ2024中期経営計画」



# 1. 第2四半期の経営成績の概況(連結)

## 連結売上高

自動車部品市場及び半導体・電子部品市場が好調に推移し3期ぶりの増収

**連結売上高: 58億6千5百万円**

(前年同四半期比24.6%増)

## 営業利益

売上高が大きく増加したことや、コスト削減活動による売上原価率の改善等により黒字転換

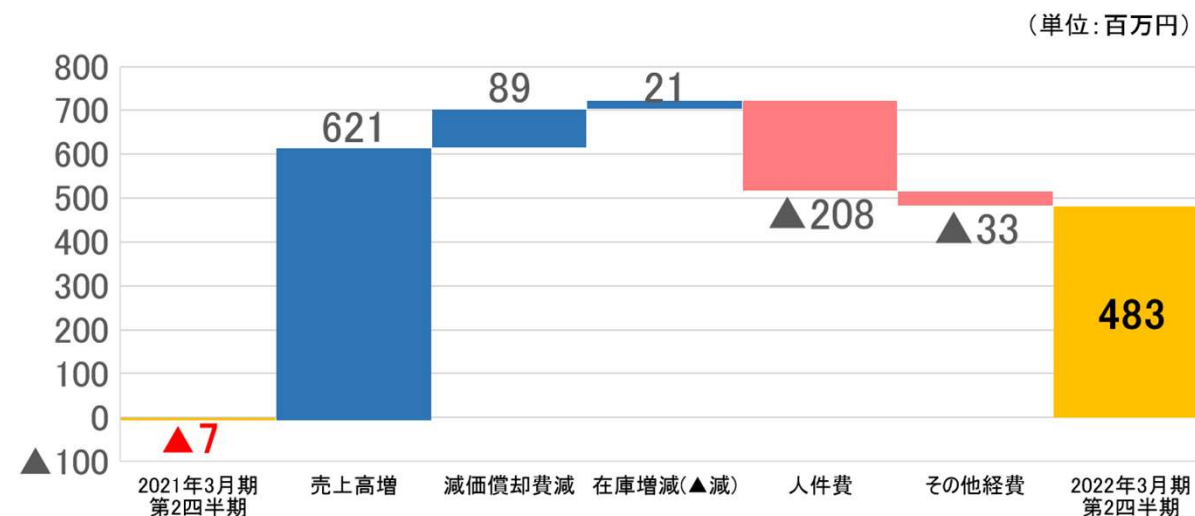
**営業利益: 4億8千3百万円**

(前年同四半期は7百万円の営業損失)

### □ 連結業績

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	(単位:百万円)	
			対前年比 増減額	増減率(%)
売上高	4,705	5,865	1,159	24.6
営業利益	△7	483	490	—
経常利益	136	619	482	352.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	148	444	295	198.6

### □ 営業利益増減要因



# 1. 第2四半期の経営成績の概況(連結)

## 経常利益

営業利益の増加要因のほか、前年同四半期に計上した雇用調整助成金がなかったこと等の押し下げ要因はあったものの、**3期ぶりの増益**

**経常利益: 6億1千9百万円**

(前年同四半期比352.3%増)

## 親会社株主に帰属する四半期純利益

法人税、住民税及び事業税が増加したこと等により、経常利益並みの利益の伸びはないものの**3期ぶりの増益**

**親会社株主に帰属する四半期純利益: 4億4千4百万円**

(前年同四半期比198.6%増)

## □ 連結業績

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	(単位:百万円) 対前年比	
			増減額	増減率(%)
売上高	4,705	5,865	1,159	24.6
営業利益	<b>△7</b>	483	490	—
経常利益	136	619	482	352.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	148	444	295	198.6

## □ 主要な経営指標

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期
売上高営業利益率	<b>△0.2</b>	8.2
自己資本四半期純利益率(ROE)	1.5	4.4
総資産経常利益率(ROA)	0.9	4.0
1株当り四半期純利益	61.60	184.37

## 2. セグメント別の状況

### セグメント別業績

(単位:百万円)

		2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	対前年比 増減額 増減率(%)	
機械部品事業	売上高	2,877	3,240	363	12.6
	営業利益	203	523	319	156.8
電機部品事業	売上高	1,841	2,680	839	45.6
	営業利益	40	244	203	498.0
その他	売上高	—	—	—	—
	営業利益	—	—	—	—
調整額	売上高	△13	△56	△43	—
	営業利益	△252	△284	△31	—
全社	売上高	4,705	5,865	1,159	24.6
	営業利益	△7	483	490	—

#### □ 機械部品事業 業績

売上高：32億4千万円  
 (前年同四半期比 12.6%増)  
 営業利益：5億2千3百万円  
 (前年同四半期比156.8%増)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期
売上構成比	61.0%	54.7%
営業利益率	7.1%	16.1%

#### □ 電機部品事業 業績

売上高：26億8千万円  
 (前年同四半期比 45.6%増)  
 営業利益：2億4千4百万円  
 (前年同四半期比498.0%増)

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期
売上構成比	39.0%	45.3%
営業利益率	2.2%	9.1%

## 2. セグメント別の状況

### セグメント別四半期業績推移

(単位:百万円)

	2021年3月期				2022年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
機械部品事業	売上高	1,516	1,360	1,316	1,431	1,562	1,678
	営業利益	153	50	76	103	255	268
電機部品事業	売上高	982	859	1,162	1,284	1,324	1,356
	営業利益	20	20	137	206	81	162

※ 売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

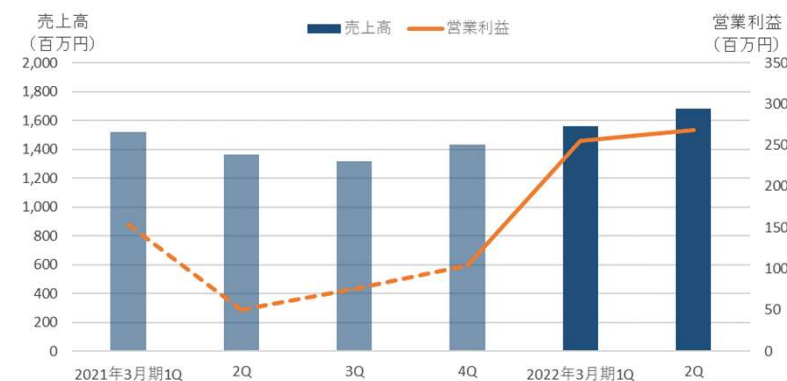
#### □ 機械部品事業

衛生用品機器市場が低調なもの、半導体・電子部品市場が好調なことや、産業用機器・部品市場も回復基調を維持しており、売上高は昨年第4四半期から増収で推移した。これに伴い、営業利益率も16.1%と高い水準で推移した。

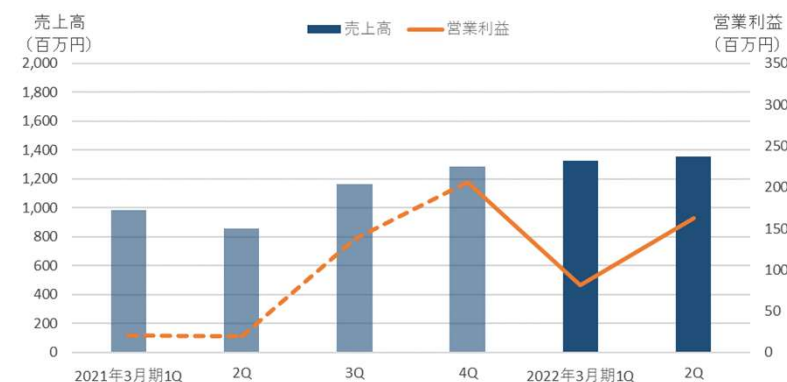
#### □ 電機部品事業

自動車部品市場が好調であり、昨年第3四半期から続く増収を維持し推移した。利益面では第1四半期は余剰在庫の評価・処分等による減益要因があったが、営業利益率は9.1%まで復調した。

#### □ 機械部品事業 四半期別業績推移



#### □ 電機部品事業 四半期別業績推移



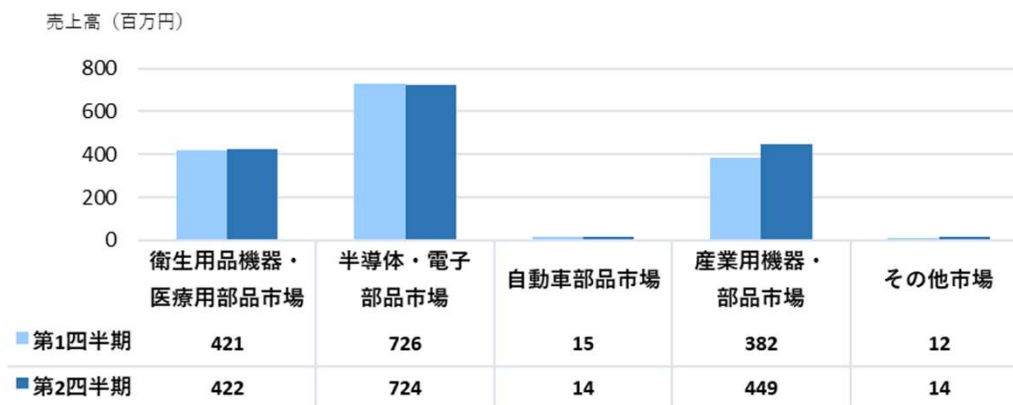
## 2. セグメント別の状況

### 機械部品事業

#### 各注力市場の四半期別業績推移

- ・半導体・電子部品市場は、好調を維持しながら推移
- ・産業用機器・部品市場は、回復基調を継続
- ・衛生用品機器市場は、設備投資抑制の影響がなお残っており、低調に推移

機械部品事業 市場別売上高（四半期別推移）



※売上高はセグメント間の取引を含んでおります。

#### 各注力市場の主な商品の状況（前年同四半期累計期間比）



##### 衛生用品機器・医療用部品市場

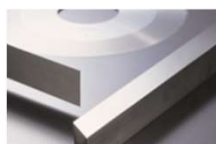
NTダイカッター ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度並みの低調な収益に留まる。



##### 半導体・電子部品市場

情報関連機器のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板

▶ データセンター向けや監視カメラ用途等での需要が好調であり、増収



##### 産業用機器・部品市場

耐摩耗部材 ▶ 製鉄向けが顧客の在庫積み増し等により、増収



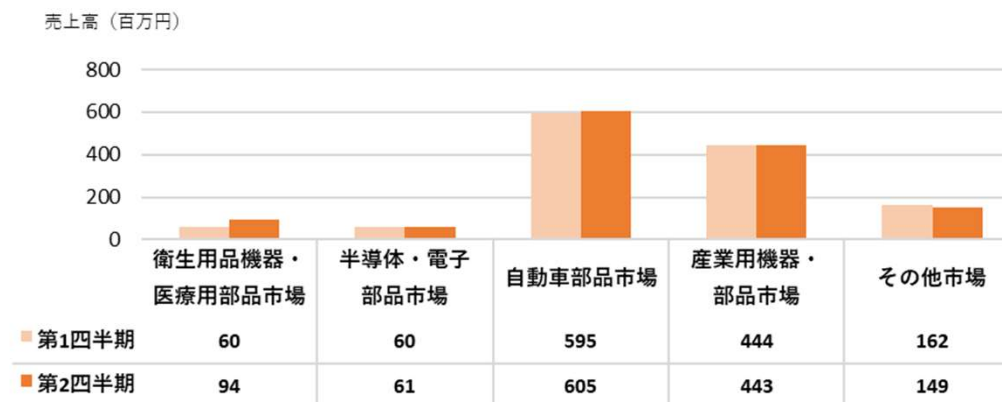
## 2. セグメント別の状況

### 電機部品事業

#### 各注力市場の四半期別業績推移

- ・自動車部品市場が、引き続き好調
- ・産業用機器・部品市場は、工作機械及び半導体製造設備等が堅調に推移
- ・衛生用品機器・医療用部品市場は、カテーテル用タングステンワイヤー製品が第1四半期と比べ伸長し、増収

電機部品事業 市場別売上高（四半期別推移）



※売上高はセグメント間の取引を含んでおります。

#### 各注力市場の主な商品の状況（前年同四半期累計期間比）



##### 自動車市場

EV用接点 ▶ 半導体不足による自動車生産減速の影響により若干需要が鈍化したものの、増収  
電装部品溶接用の抵抗溶接電極も好調に推移



##### 産業用機器・部品市場

産業用設備向けのブレーカー用電気接点 ▶ 工作機械及び半導体製造設備の需要回復により、増収

当社の電気接点が組み込まれた  
配電盤のブレーカー



##### 衛生用品機器・医療用部品市場

医療関連部材のカテーテル用タングステンワイヤー製品 ▶ 需要の底堅さはあるものの、若干の減収

### 3. 財務の状況(連結)

#### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期	対前年比 増減額
総資産	14,994	15,629	635
負債	4,983	5,272	289
純資産	10,011	10,357	346

#### 総資産

主に棚卸資産及び有形固定資産が減少したものの、現金及び預金や売上債権が増加

##### (流動資産)

増加	現金及び預金	+628
	売上債権	+429
減少	棚卸資産	△169

##### (固定資産)

減少	有形固定資産	△157
	無形固定資産	△5
	投資その他の資産	△44

#### 負債

主に未払法人税及び賞与引当金が増加

##### (流動負債)

増加	未払法人税等	+156
	賞与引当金	+123

##### (固定負債)

減少	繰延税金負債	△42
----	--------	-----

#### 純資産

主に利益剰余金が増加

増加	利益剰余金	+347
----	-------	------

#### □主な経営指標

	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期
自己資本比率(%)	66.7	66.2
1株当たり純資産(円)	4,151.88	4,289.84

### 3. 財務の状況（連結）

#### キャッシュ・フローの状況

（単位：百万円）

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	対前年比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	463	916	453（収入増）
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 362	△ 187	175（支出減）
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 136	△ 110	26（支出減）
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	5	△ 2
現金及び現金同等物の期末残高	2,156	3,084	927

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により獲得した資金 9億1千6百万円（前年度比4億5千3百万円の収入増）

- ▶ 主に業績の好転により、税金等調整前四半期純利益や仕入債務が増加

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金 1億8千7百万円（前年度比1億7千5百万円の支出減）

- ▶ 主に投資有価証券の売却による収入が減少したものの、設備投資の減少により、有形固定資産の取得による支出が減少

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金 1億1千万円（前年度比2千6百万円の支出減）

- ▶ 主に前連結会計年度の期末配当金の増額による支出増があったものの、前年同四半期に自己株式を取得しており、全体として支出減

## 通期業績予想の修正

### 今後の経済見通し

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で、世界経済は先進国と発展途上国の回復に差があるものの、全体として回復基調で推移するものと思われま

### 当社グループの注力市場と通期業績予想の修正

自動車部品市場での半導体不足による生産減少の懸念や、衛生用品・医療用部品市場での設備投資の回復の遅れの懸念等あるものの、引き続き回復基調で推移するものと思われま

当社グループの通期業績は、中国経済の減速懸念や材料価格の高騰など今後の不確実性は残るものの、第2四半期までの業績が好調に推移したことから、現時点では第3四半期以降の業績は比較的底堅く推移するものと見込んでおります。

このため、2021年5月20日に公表した2022年3月期通期の連結及び個別業績予想値を上方へ修正いたします。

連結業績予想	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,000	700	860	580	240.56
今回修正予想(B)	11,500	900	1,000	750	311.31
増減額(B-A)	500	200	140	170	
増減率(%)	4.5	28.6	16.3	29.3	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	9,894	275	643	△62	△26.2

個別業績予想	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,400	510	730	510	211.53
今回修正予想(B)	11,000	650	900	650	269.81
増減額(B-A)	600	140	170	140	
増減率(%)	5.8	27.5	23.3	27.5	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	9,364	123	561	△306	△126.96

## 剰余金の配当及び期末配当予想の修正

### 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は株主の皆様への利益還元につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安に、新商品開発を推進するための設備・人財・研究などへの戦略的投資、中長期的な企業財務体質の強化等を総合的に勘案しつつ、安定的・継続的な配当に努めております。

また、1株当たりの株主価値を向上させるとともに、資本効率の向上を図るため、適宜自己株式の取得に努めております。

### 剰余金の配当(中間配当)

配当方針に基づき、剰余金の配当(中間配当)は前回発表予想から1株当たり10円増配の50円とさせていただくことを決定いたしました。

### 期末配当予想の修正

期末配当予想につきましては、2022年3月期通期の業績予想値を上方に修正したことにより、当初予想40円から1株当たり50円とすることといたしました。この結果、年間配当(中間配当1株当たり50円を含む)予想は、1株当たり100円となります。

#### □ 剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月20日公表)	前期実績 (2021年3月期中間配当)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	50円00銭	40円00銭	0円00銭
配当金総額	120百万円	—	—
効力発生日	2021年12月7日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

#### □ 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり配当金(円)			予想 配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
前回予想 (2021年5月20日)	40円00銭	40円00銭	80円00銭	—
今回修正予想		50円00銭	100円00銭	32.0%
当期実績	50円00銭			—
前期実績 (2021年3月期)	0円00銭	40円00銭	40円00銭	—(当期純損失)

## 経営成績(連結)

(単位:百万円)

区分	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期
売上高	5,326	6,301	5,711	4,705	5,865
営業利益	337	637	267	△7	483
経常利益	490	728	351	136	619
親会社株主に帰属する四半期純利益	371	521	267	148	444
純資産	9,300	10,014	10,119	10,006	10,357
総資産	14,918	15,950	16,254	15,182	15,629

## 経営指標(連結)

区分	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期
売上高営業利益率 (%)	6.3	10.1	4.7	△ 0.2	8.2
自己資本比率 (%)	62.2	62.6	62.2	65.8	66.2
1株当たり純資産(BPS) (円)	3,835.59	4,114.89	4,142.58	4,149.77	4,289.84

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。